

地域とともにある学校を目指し、生徒の成長を育む

西桂町立西桂中学校

1 目的と経緯

学習指導要領の前文には、これからの学校には「社会に開かれた教育課程」の実現が重要となると記されている。さらに文科省では「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を目指している。本校においても地域とともにある学校を目指し、教育課程を実施している。西桂町全体で中学生の教育をしている。

2 内容

①地域とともにある防災訓練

各地域に所属している消防団のご協力のもと地域ごとに防災訓練を実施する。具体的には避難、お年寄りの家の見回り、放水訓練、消火訓練、救助体験、コロナ以前は炊き出しも行っていた。防災訓練を通し、地域に貢献する意識を高めている。



②地域とともにある三ツ峠歩け歩け運動

強歩大会を町の行事の三ツ峠歩け歩け運動に代え、町民とともに参加している。三ツ峠だるま石までの往復のコースである。昨年は、西桂町新庁舎建設に使う木材伐採の見学を行い、本年度は植林体験をすることができた。



③地域とともにある道德教育・挨拶運動

西桂中学校は、道德教育研究指定校となっており、町をあげて道德教育をしている。町民と挨拶運動をしていた長い経緯もある。本年度の道德では三ツ峠八十八大師の前かけの製作を通し「郷土を愛する態度」、地域のゴミ問題を通し「自然愛護」、保護者の協力のもと「生命の大切さ」について学んだ。



他にも体育では西桂町にあるボルダリング[®]の体験を全校で実施していたり、地域に遺跡が発見された時は授業として見学に行ったり等授業の中での体験活動を重視している。



3 成果と課題

西桂町は、町に一校しかない西桂中学校を町全体で育てる体制がある。多くの情報が手に入り、多くの町民が協力をしてくれる。これは文部科学省が目指す、「地域とともにある学校」に他ならない。来年度は西桂中学校にも学校運営協議会が導入される。部活動の地域移行も含め、多くの課題に対応できることが期待される。